

## 飛鳥時代の伝統芸能を後世に残す会

明日香村には、古事記・日本書記の時代より受け継がれてきた伝統芸能があり、地元の有志が約30年前から「八雲琴」「南無天踊り」「飛鳥蹴鞠」「万葉朗唱」を守ろうと文化協会のなかで育ててきた。

衣装や演奏器具などを購入するのに、費用がかかることから、4つの芸能をまとめ、村の財政支援を得て大きく育てようということになり、受け皿として平成14年3月に明日香村伝承芸能保存会が発足した。

八雲琴：八雲琴は、二弦琴とも言い、古事記に記されている「天の沼琴」が発祥とされている。飛鳥寺の長老であった故山本雨宝師（国の無形文化財）が八雲琴を保存伝承、口伝の曲を採譜出版し、広く東洋音楽として紹介された。

南無天踊り：皇極天皇時代の雨乞い踊りが起源。稲渕地区の神社に残る江戸時代の絵馬、旧家にあった歌本、古老の唄などを参考にして復活した。

飛鳥蹴鞠：蹴鞠は遣隋使などにより飛鳥時代に中国から日本に伝来したと考えられている。飛鳥蹴鞠は、5人同士で2チームに分かれ、サッカーのように点を取り合うものとなっている。

万葉朗唱：万葉学者・故犬養孝先生が「犬養節」で万葉集の歌を歌われたのを参考にして、謡曲調、詩吟調、朗読調など、個々それぞれで節をつけて歌う。

4つの伝承芸能は、4～6月、9月～11月の毎週土曜日13:30から公開練習をしており、第1土曜は飛鳥蹴鞠で、会場は石舞台公園芝生広場。第2土曜は万葉朗唱、第3土曜は八雲琴演奏、第4土曜は南無天踊りで会場は明日香民族資料館「眞神荘」（奈良県立万葉文化館前）。団体の活動をよく知ってもらおうと「まるごと体験」の参加者を募集している。

同保存会の勝川会長は「練習に張り合いを出す為にも、発表の機会を増やそうと、京都府、大阪府、兵庫県、福井県、明日香村の姉妹都市である韓国扶余郡などへ出張公演をしている。古いメンバーは、30年も前から活動しているので、高齢化が進んでおり、常時メンバーを補充しておく必要がある、村外の人たちの参加を呼びかけている。南無天踊りは、踊りの振り、笛・太鼓との息の合わせ方が難しく、今の時代に合わせて簡略化することも継承していく上で課題となっている」などと話している。（上田）

問合せ先：明日香村伝承芸能保存会

TEL&Fax：0744-54-3300（勝川方）

URL：http://www.asukakyo.jp/（飛鳥京観光協会）



南無天踊り



万葉朗唱

### これからの主な催し

〔主な行事〕

● 8月19日（日）

第13回全国金魚すくい選手権大会

金魚の生産量、日本一を誇る大和郡山市で行なわれる、金魚すくい日本一を決定する大会。小中学生、一般、団体の部に分かれて、3分間に1枚のポイで何匹の金魚をすくえるかという熱戦を繰り広げる。

近鉄橿原線郡山駅から 泉原町行きバス「市営グランド前」下車すぐ 矢田寺行きバス「横山口」下車徒歩3分

場所：大和郡山市総合公園施設多目的体育館

問合せ：大和郡山市役所 商工観光課  
TEL：0743-53-1151 内線563

● 8月23日（木）～24日（金）

元興寺 地藏会万燈供養

本堂の地藏菩薩立像や境内の石造地藏を供養するもの。堂内には書画の行灯が献納され、境内では灯明皿による万燈供養が行われる。JR奈良駅から徒歩20分 近鉄奈良駅から徒歩10分

問合せ：元興寺 TEL：0742-23-1377